**令和5年度（2023年度）京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター**

**CORE Program申請書（他機関所属者用）**

　　年　　月　　日

京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センター長　殿

 申請者　氏名：

 　　ローマ字：

 部 局：

 住 所：

 連 絡 先：電話　　　　　　　　　　　FAX

 　 e-mail

 事務担当者 氏名：

電話　　　　　　　　　　　FAX

 e-mail

下記のとおり申請します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1. 研究題目**研究期間　通年 | 日本語 |  |
| 英　語 |  |
| **2. 研究組織** | 氏　名 | 部　　局 | 職 名 | 放生研での放射線照射実験（有は左に✔を）注1,2 | 放生研での動物実験（有は左に✔を）注３ | 放生研での組換えDNA実験（有は左に✔を）注４ |
| **申請者** |  |  |  |  | 有 |  | 有 |  | 有 |
| **研究協力者** |  |  |  |  | 有 |  | 有 |  | 有 |
|  |  |  |  | 有 |  | 有 |  | 有 |
|  |  |  |  | 有 |  | 有 |  | 有 |
| **所内連絡者** |  | 京都大学大学院生命科学研究科附属放射線生物研究センタ− |  |  | 有 |  |
| **3. 研究の目的** |
| **4. 今回の申請の計画、実験の具体的な方法**以下の注意書きをよく読んで、ご記入ください。1. 放射線照射実験、動物実験、組換えDNA実験を含む研究計画の場合、それらをどこで実施するか（特に放生研の建物内で実施するか否か）について、次ページの注2～5を確認の上、必ず明記して下さい。
2. 使用設備、所要時間などについて、根拠が分かるように記入して下さい。特に低線量長期放射線照射装置の利用については、実験実施希望時期・照射時間・照射条件などについても、申請時に分かる範囲でできるだけ詳しく記入して下さい。

提出時、この赤字の注意書きは消去して下さい。  |
| **5. 使用設備**（左セルに✔を） |  | 低線量長期放射線照射装置 |  | γ線照射装置 |  | α線照射装置 |  | 共焦点レーザー顕微鏡（ライカ　ＴＣＳ　ＳＰ5） |
|  | InCell Analyzer (GE) |  | IVIS動物用光イメージング装置 |  | 組織培養実験室 |  | 紫外線照射装置 |
|  | その他（具体的に） |
| **6. 申請者が放生研に持込みを予定している機器** |  |
| **7. 来所計画** |
| 来　 所 　者 | 実験のための来所所要日数 | 来所目的と日数（目的の項には下記に示す一文字を記入） |
| 区分 | 氏　　名 | 職 名 | 来所回数 | 来所延日　数 | 4,5月 | 6,7月 | 8,9月 | 10,11月 | 12,1月 | 2,3月 |
| 目的 | 日数 | 目的 | 日数 | 目的 | 日数 | 目的 | 日数 | 目的 | 日数 | 目的 | 日数 |
| 申請者 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 協力者 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 協力者 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 協力者 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  来所目的とその区分：実験（実）、データ整理（デ）、打合せ（打）、その他（他）と一文字で記入 |
| **8. 旅費支給希望の有無**（左セルに✔を）注5 |  | 支給希望有 | 宿泊　日 |  | 支給希望無 |
| **9. 従来の成果及び期待される成果** |
| **10. 申請課題についての新規、継続の別** 　　（いずれかを消すこと。）  | 新規　　　　継続（　　　年度から） |
| **11. 利用経験から気のついた点** |

注１.放射性同位元素等（X線、α線、γ線等放射線照射装置を含む）を使用する研究については、申請が採択された後に別紙様式により申請者及び研究協力者が放射線作業従事者として登録されていることの証明を必要とします。

注２.放生研に設置されている放射線照射装置を使用するか否かで有無をお選びください。

注３.申請者もしくは研究協力者が、鳥類以上の生きた動物を放射線生物研究センターの建物に持ち込んで実験をする場合に「有」に✔を入れてください。申請が採択された後に動物実験計画書を京都大学大学院生命科学研究科に提出し、承認を受けることが必要です。

注４.申請者もしくは研究協力者が、放射線生物研究センターの建物内で組換えDNA実験を実施する場合、もしくは組換えDNA実験によって生じた遺伝子組換え生物（ウィルス、ウィロイド、細菌、真菌、動植物の個体・配偶子・胚・種子等のほか、培養細胞を含む）を放射線生物研究センターに持ち込んで実験する場合に「有」に✔を入れてください。申請が採択された後に、組換えDNA実験計画書を京都大学に提出し承認を受けることが必要です。

注５．平成16年4月より国立大学法人化にともない共同利用研究の旅費補助については、従来通りと思われますが不確定要因もありますのでご承知おき下さい。